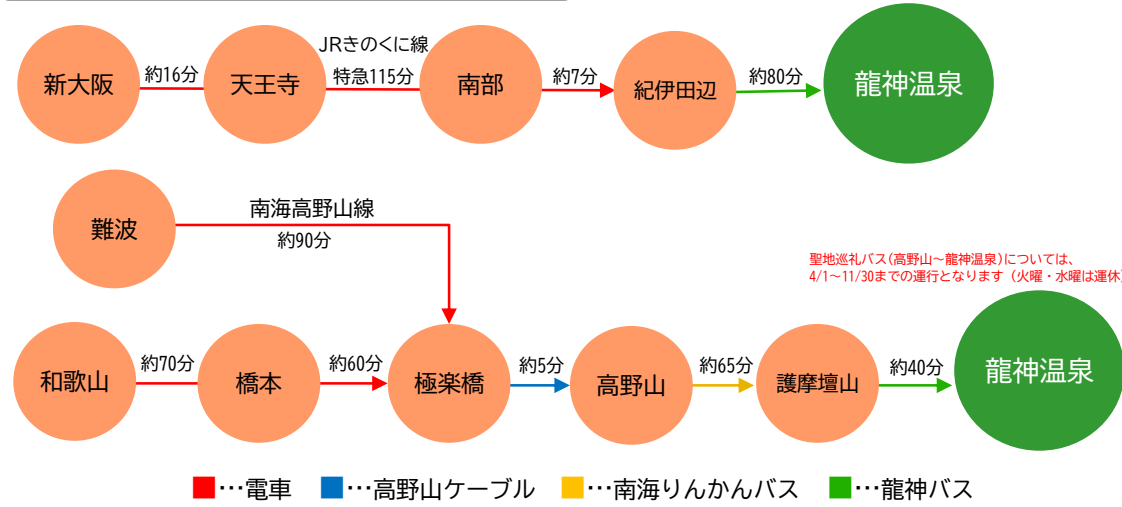
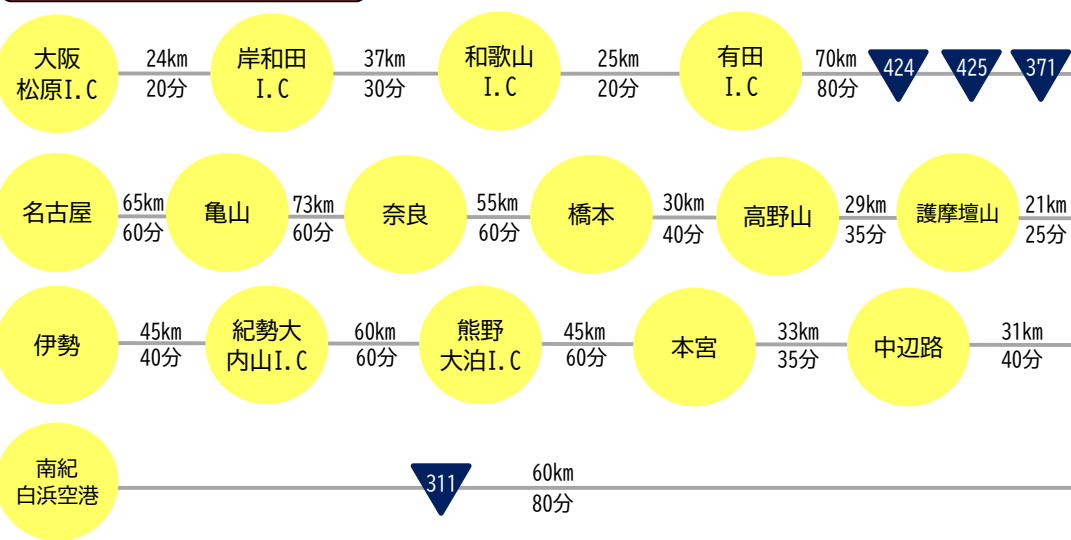


列車・バス（公共交通）をご利用の場合



マイカーをご利用の場合



飛行機をご利用の場合

関西国際空港から
JR関西国際空港線、日根野駅乗換えて特急列車にて約1時間半でJR紀伊田辺駅到着。
JR紀伊田辺駅から龍神バスで約1時間20分で龍神温泉へ。

羽田国際空港から
空路南紀白浜空港まで約1時間15分。JR白浜駅までバスで20分、乗り継ぎJR紀伊田辺駅から、龍神バスで約1時間20分で龍神温泉へ。

交通機関お問い合わせ

- 龍神自動車 (0739)22-2100
- 南部タクシー (0739)22-2608
- 南海りんかんバス (0736)56-2250
- 高野山タクシー (0120)372-628
- 白浜第一交通 (0739)42-2916
- 明光タクシー (0739)42-3751
- 熊野第一交通本社 (0735)22-6313



路線バス
聖地巡礼バス



ホームページ

龍神村の観光情報盛り沢山！
気になるページがすぐ見つけられちゃいます。



Instagram

イベント情報、フォトコンテスト
開催情報をいち早くお届け。
ぜひフォローお願いします！



X (旧Twitter)

温泉むすめ「龍神晴」ちゃん情
報発信中！最新情報をいち早く
チェックできます。



編集後記

専務理事 前田 敦司

情報誌「龍神観光マガジンvol.8」をお読みいただき、ありがとうございます。
2月も中旬に入りましたが、まだまだ寒い日が続いています。
今年の冬は、大雪の日があった昨年と比べると雪の降る量は少ないですが、それでも何度か積雪の日があり、今年もきれいな雪の風景を見ながら慎重に車を運転しています。
先月下旬、雪あそびのイベントで、ごまさんスカイタワーに行ってきました。数日前にたくさんの雪が降って、スカイラインを上っていくと除雪された雪が延々と道の両側に積まれている、雪国のようなその光景にとっても驚きました。
スカイタワーに到着して駐車場から見た景色は、一面の銀世界で、また木々の枝には花が咲いたように雪が付着していて、とても素敵な景色でした。
また、駐車場には多くの車が出入りしていて、雪道の中、大勢の方が訪れていました。雪道走行は不慣れですが、次は、自分の車の装備をしっかりと整えて、この真っ白な雪に彩られた素晴らしい景色を家族といっしょに見に来たいと思っています。
本号では、辰年特集として「龍神村ドラゴンミュージアム」や「村内各所にいる龍たち」などをご紹介します。本誌をお読みいただいている皆様にも、辰年の今年、ぜひ龍神村にお越しください。村内のたくさんの「龍」に出会っていただければと思います。お客様の安心・安全なお迎えに努め、皆様のお越しをお待ちしています。
あわせて、引き続き本誌をご活用いただきますようお願いいたしますとともに、次号もご期待ください。

RYUJIN KANKOU MAGAZINE

龍神村の知らない魅力が見つかる情報誌

寒い日は温泉にゆっくりつかって

心も身体も「ぽかぽか」に。

vol.8

冬号／春号

(公社)龍神観光協会
〒645-0415
田辺市龍神村西376
TEL(0739)78-2222

龍神温泉観光宿泊案内所
〒645-0525
田辺市龍神村龍神165-1
TEL(0739)79-0339

表紙写真：第5回龍神村のええところフォトコンテスト受賞作品 @burankoninotta_onji 様

ドラゴンミュージアム 龍神村 Dragon Museum

辰年特集



龍神村Dragon Museum

〒645-0417 和歌山県田辺市龍神村柳瀬908番地
☎0739-78-0072
営業時間:9時～16時
休館日:火曜日
展示エリアへの入館料 大人500円 小学生250円(未就学児無料)

ドラゴンミュージアムのはじまり

龍神村柳瀬にあるこちらの施設は2022年7月にオープンしたばかり。
龍神村という名前にちなんだ「龍」に関する作品展示やグッズの販売を行っています。
はじまりは魅力的で活力あふれる「龍の里」をつくることを目的に発足された「龍の里づくり委員会」。
その中で出た提案を企業として活動させ、経済活動に繋げていくため株式会社龍神村が設立されました。
『「龍」という名のつく村に「龍」好きが集まり、アートを通して龍にこだわった村づくりを』
そんな想いを実現すべく、龍神村Dragon Museumの運営をはじめました。

株式会社龍神村
ホームページ



ドラゴンミュージアムの魅力

その名のとおり「龍」がたくさん集まるこの場所には龍の造形大賞で集まった約185点もの作品が展示されています。「龍の造形大賞」とは全国から「龍」をテーマとした造形物を募集し、世界的な造形メーカー海洋堂が協力のもと開催されたものです。作品は造形物での表現力が必要となり、遊び心やユニークな作品、ストーリー性があったりと多種多様な龍が集まっているため見応え抜群。最優秀作品などに入賞した作品はクオリティが非常に高く迫力満点です。
昨年12月まで「龍の造形大賞リターンズ2023」と称し3回目の造形大賞が開催され52点の応募がありました。応募作品は株式会社龍神村ホームページで閲覧できる他、ドラゴンミュージアムへ展示される予定となっています。

▲チェンソーアーティスト城所ケイジさんが作成したコモドラゴンが入口でお出迎え。皮膚のツヤ感や大きな口など今にも動き出しそうな程リアルに作り込まれています。ベンチにもなっているため、コモドラゴンの背中に座ることもできちゃいますよ！

豊富な商品の数々

入口すぐの販売エリアでは「龍神村ならではのもの」を中心に約50種類程の商品を取り扱っています。龍神村で生産しているものは勿論、「龍」と名前が付くもの、縁起の良い龍グッズなども販売しています。販売員が自ら足を運んで、良いと思った商品は交渉し入荷したりすることもあるそう。最近ではお酒の種類も豊富になっており、地元のクラフトビール、ドラゴンミュージアムラベルのお酒などお土産にも最適です。ほとんどは観光のお客さんだそうですが、特産品である龍神マッシュの椎茸や地元のパンやお菓子の販売を楽しみに訪れる村内の方もいるんだとか。2024年は辰年ということもあり、縁起がよいとされている龍のグッズも種類が豊富。8万円を超える龍の置物なんかもあったりします。辰年のラッキーアイテムとして、龍グッズを購入してみてもいいかな？



龍と人が集まる
パワースポット

温泉むすめ「龍神 晴」の活用

龍神村では2022年7月から温泉むすめ 龍神 晴(りゅうじん せい)ちゃんのパネル展示やグッズ販売を行っています。村内道の駅や宿泊施設それぞれの特徴を活かした書き下ろしグッズ販売なども増えてきており、昨年10月からこのドラゴンミュージアムでも書き下ろしパネルが顕現いたしました。
ドラゴンと眠っている晴ちゃんはファンタジー感があり、ここならではのデザインとなっています。龍の造形大賞作品の着想を得てこだわったデザインはファンの心を掴み、SNSで展示開始の告知をアップした際には大きな反響がありました。同じく販売を開始した同イラスト缶バッジも1カ月で100個が完売する程の人気となり、晴ちゃんは今やドラゴンミュージアムの看板むすめとなっています。
最近では晴ちゃんラベルのワインも数量限定で発売し、大好評となりました。最新情報はXにて更新されておりますので、ぜひチェックしてみてくださいね。



缶バッジ…300円(税込) 缶バッジを購入した方は入館料が50円引きに♡



楽しめることまだまだいっぱい！

このミュージアムは和歌山県内でも随一の龍であふれる場所ですが、ここでしか手に入れる事ができないグッズのガチャガチャがあったり、美味しい物・おもしろいものが集まる『ドラゴンマーケット』とよばれる朝市が開催されたり…楽しいことが盛りだくさんな場所なんです。ちょっとしたおやつやカフェメニューも揃っているので、運転に疲れた方なんかは少し立ち寄る休憩所にもぴったり。裏手からは日高川の川原へすぐアクセスでき、夏は水遊びもできちゃいます！龍神村に来てどこに行けばいいか悩んでいる方も、テラスでゆっくりコーヒーでも飲みながら次の行き先を決めるのも良いのではないのでしょうか。また、電動自転車の貸出も行っておりますので、天気の良い日は気持ちいい風を感じながら龍神村の景色を楽しむこともできますよ。
辰年である今年は、「龍」の力強いパワーと運気をもらいに、ぜひ龍神村 Dragon Museumへ遊びに来てくださいね！

Instagram
アカウント



X (旧Twitter)
アカウント



龍神村を改めてご紹介！

龍神村は、約70%を標高500m以上の山岳が占め、澄んだ空気と村内を流れる清流日高川によって豊かな自然に恵まれた環境です。
世界遺産として有名な高野と熊野という二大霊域の中間に位置しており、「日本三美人の湯」として称されている龍神温泉の泉質は、つるつるすべすべの美しいお肌をつくることから「美人の湯」とされています。その効能は美肌になるだけではなく、冷え性、神経痛、肩こりにも効果があるといわれています。また、龍神温泉以外にも「龍神小又川温泉」「丹生ノ川温泉」「釜ノ崎温泉」の泉源があり、村内各所で温泉宿を利用することができます。こちらの4泉源を総称して「龍神温泉郷」と呼ばれています。
龍神村の魅力は温泉に加え、地域産品を取り扱う3つの道の駅があり、護摩壇山周辺では春の新緑や秋の紅葉など大自然を楽しむことができ、龍のうねりを想像させる日高川では川遊びや溪流釣りなど四季折々の自然を体感することができます。
また、龍の導きであろう芸術に長けた移住者の集まる村でもあり、特色あるお店も点在しており、ショッピングやランチも楽しむことができますよ！
村内には至るところに「龍」が存在していますので、龍神村にお越しの際はぜひお探しになってみて下さい！

村内各所にいる龍たちを一部ご紹介・・・

龍のモニュメント

龍神温泉街入口にあるこちらのモニュメントは「皆瀬神社」の樹齢約300年の御神木を使用し、チェンソーアーティストの城所ケイジさんが制作したもの。2020年4月に完成いたしました。
平成30年の台風により、先端が折れてしまった御神木を、龍神温泉の看板にしたいと龍神温泉協会の方々が動き事業が開始しました。
龍の右手に握られている黒い玉「災いや悪い物」、下の青い玉は地球がイメージされており「希望」の意味が込められています。



龍神行政局 龍の石像

平成5年8月、龍神村新庁舎の建設にあたり紀州信用金庫(現きのくに信用金庫)から寄贈された龍の石像で、当時は石像彫刻として日本一の大きさといわれていました。高さ3m程もあるこの彫刻像は、今や龍神村のシンボルともなっています。



龍の里橋(りゅうのさとはし)

季楽里龍神上流側にある龍の里橋は「龍の里づくり」事業の一環として龍をイメージして整備された清流日高川に架かる市道橋です。55m程のこちらの橋の親柱には龍の頭部をあしらっており、欄干部分は龍の胴体をイメージしています。



村内にはまだまだ龍がたくさん！ぜひ探してみてね！